

～サイエンスチャレンジ岡山2021～

令和3年11月20日（土）岡山大学清水記念体育館・第2体育館にて、「サイエンスチャレンジ岡山2021 兼 第11回科学の甲子園全国大会岡山予選会」が開催されました。

県内の高校23校から35チームが参加し、筆記競技、実技競技①（化学・物理分野）、実技競技②（生物・地学分野）、実技競技③（工学分野）の4つの部門で競い合いました。倉敷天城高校からは、理数科1年次生8名で構成したチーム「エンライトメント」と理数科2年次生8名で構成したチーム「octet」が参加しました。チーム「エンライトメント」は、筆記競技で第2位、実技競技①で第5位となり、総合で第2位に入賞しました。また、実技競技③ペーパーチャレンジのタワー製作では、奇抜なアイデアということで、審査員特別賞「匠賞」を受賞しました。準備の時間がなかなか確保できない中、熱心に準備を進め、メンバーの8人がそれぞれの力を発揮し、全員で勝ち取った入賞です。優勝を勝ち取ることができませんでしたが、来年につながる体験になったと思います。2年次生のチーム：octetは、入賞することはできませんでしたが、いろいろ工夫しながら各競技を楽しむことができ、充実した大会になりました。



炭酸ガスの圧力でコルク栓を飛ばす



A4 コピー用紙とゼムクリップでタワーを作製



水の入ったペットボトルをのせタワーの耐久性で競い合う



ペーパーグライダーの作製



「octet」



「エンライトメント」